

様

気管切開部・カニューレ処置マニュアル



【 _____ 様の気管切開について】

I. 基本事項について

気管カニューレのメーカー名は _____

商品名は _____

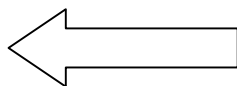
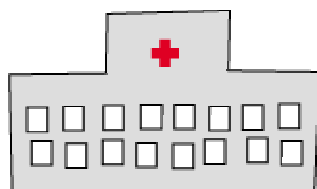
サイズは _____ 号、カフ圧 _____ ml です。

カニューレ交換は _____ 週間に1回です。

最終交換日は _____ 年 _____ 月 _____ 日です。

* 気管カニューレの交換は、地域のかかりつけ医または当院、訪問看護などで受けてください。

* 当院で交換される場合は、地域のかかりつけ医から「大垣市民病院よろず相談センター地域連携部門」を通じて、受診の予約を取って頂けます。



地域連携システムによる医療交換の受診予約

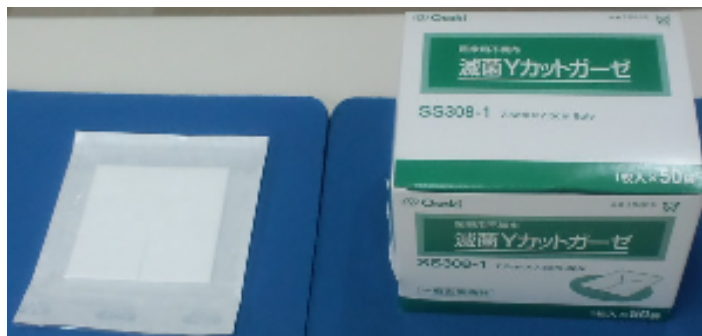
(F A X)

Ⅱ. 必要物品

入手方法： ☐ 地域のかかりつけ医 ☐ 大垣市民病院 _____ 科外来

☐ その他

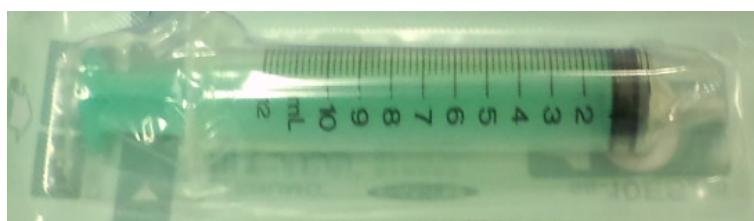
1. 滅菌Yガーゼ（ガーゼをYの字にカットしてもよい）



2. アルコール綿（エタノール液とカット綿でもよいです。）



3. 注射器（カフェア確認用）



4. 固定用ひもまたはバンド（ソフトホルダー）



5. 固定用テープ

Ⅲ. 手順（気管切開部のガーゼ交換）

1. 必要物品を準備します。
2. 石鹸で手をきれいに洗いましょう。
3. 痰を吸引します。（気管内吸引用処置マニュアルを参考にしてください。）

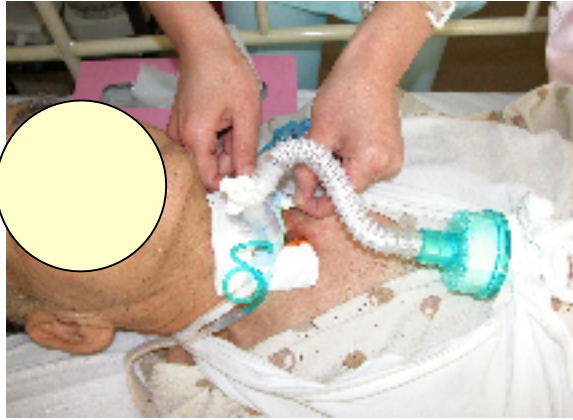
痰が残っていると、ケア中に噴出することがあるので注意しましょう。

4. 気管カニューレを固定している固定用ひもまたはバンドは、著しい汚れがある場合ははずし交換します。
5. 抜けないように気管カニューレをしっかり押さえながら、Yガーゼをはずします（図1）。

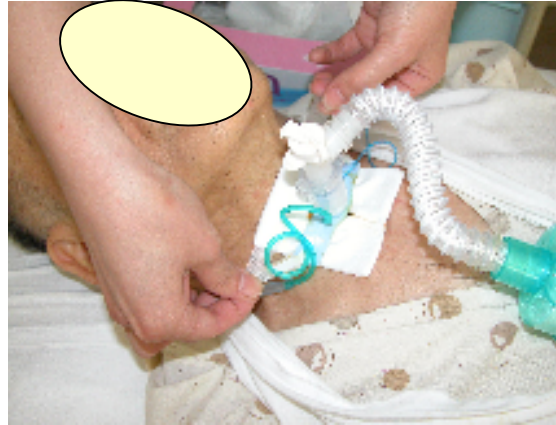


（図1）

6. 濡れガーゼ（汚れのひどい時はアルコール綿）で気管切開部をきれいに拭き取ります。
 7. 新しいYガーゼの切り込み部分を不潔にしないように気管カニューレに沿わせて、新しいYガーゼをあてます（図2）。
- Yガーゼは切り込み部分と顎側をテープで固定しましょう（図3）。



(図 2)



(図 3)

8. 固定用ひもまたはバンドで、指 2 本が入る程度の強さに気管カニューレを固定します。固定用バンドの場合は、事前に長さを確認しておきましょう。
9. カフ付きのカニューレを使っている場合は、口の中を十分に吸引してからカフの空気を全て抜き、再度カフに決められた量の空気を注入します。

IV. 注意事項

1. 気管切開部の皮膚の状態（赤くなっていないか、膿が出ていないか、出血していないか、肉が盛り上がっていないか、痒みはないか）、Y ガーゼに付着した分泌物の有無、色、臭い、量などを観察します。異常があるときは訪問看護師か、かかりつけ医に報告して、処置をしてもらいましょう。
2. ガーゼの交換は、痰が多く汚染がひどいときには 1 日数回、汚染が少なければ 1~2 日に 1 回など、状態に応じて交換を行いましょう。
3. カニューレが外筒と内筒の二重管構造になっているものは、気道確保と感染予防のため、最低 1 回／日カニューレ内筒を洗浄用ブラシやガーゼなどを使い流水で洗い流しましょう。内筒を抜いたら、

すぐに清潔な内筒を入れてください。

4. 1日1回カフ圧を確認しましょう。カフは耳たぶぐらいの柔らかさのふくらみ程度となるようにしましょう。(注射器で5～7mlの空気を入れましょう。)
5. 口の中が乾燥し汚れやすくなっています。起床時や就寝前、汚れている時は歯磨きやぬれガーゼなどで口腔ケアをおこない清潔にし、保湿を保つようにしましょう。
6. カニューレ交換は、カニューレの閉塞、カフの損傷などのトラブルがなければ、1回／2週間(カニューレの種類によっては1回/月でよいものもあります。)の診察の際に医師が行います。
7. カニューレの閉塞や狭窄が疑われるときは、加湿器・吸入器を使用し、痰を出しやすくして、吸引しましょう。しかし状況が改善されない場合は、訪問看護師に連絡し対処してもらいましょう。
8. カニューレが抜けた場合は、訪問看護師に連絡し指示をうけましょう。
9. 入浴時には気管切開部、気管カニューレが濡れないように注意しましょう。入浴後は消毒し、ガーゼ交換を行いましょう。

【気管切開処置手技自己評価チェックリスト】

A . . . 看護師の援助なしでできる

B . . . 看護師の援助によりできる

C . . . 看護師による実施

内 容	/	/	/	/	/
1. 石鹼で手をきれいに洗うことができる。					
2. 必要物品の準備ができる。					
3. 処置前に痰の吸引ができる。					
4. カニューレを固定している固定ひもまたはバンドを、著しい汚れがある場合、はずし交換することができる。					
5. 抜けないようにカニューレを押さえながら、Y ガーゼをはずすことができる。					
6. 新しいY ガーゼの切込み部分を不潔にしないようにカニューレに沿わせてあてることができる。					
7. 固定ひもまたはバンドで指2本が入る程度の強さにカニューレを固定できる。					
8. カフ付きのカニューレを使っている場合は、口の中を十分に吸引してからカフの空気を全て抜き、再度カフに決められた量の空気を注入できる。					
9. 注意事項に記載してある、観察項目を理解し、対応できる。					